

2018年10月

IMS-BBシステム機器の修理対応について

近年、電子部品の急速な技術革新や部品メーカー側での生産中止に伴い、修理用部品（特に電子部品及び電気部品関係）の入手及び修理が困難な状況にあります。

これまで出来る限り部品在庫を確保し、修理対応の体制を維持して参りましたが、部品在庫の減少、経時劣化による機能不全等により、修理不可能となる場合が発生しております。

このため、現在ご使用いただいているIMS-BBシステム機器のうち、生産終了後10年以上を経過した製品については上記の理由により、故障内容によっては修理をお受けできない場合があることを予めご容赦下さい。

尚、修理不可と判明した時には、システムのリニューアル案のご提案をさせていただきますので、ご検討の程よろしくお願い致します。

また、該当製品の補修部品の供給期限及び修理対応期限をにつきましては、一般社団法人インターホン工業会の更新時期目安に基づいております。

また、インターホンメーカーと同等期間とさせていただきます。

その他組み込み製品につきましては各メーカーの販売終息、修理対応時期に依存します。

※修理については、上記期間を原則としますが、保守部品の在庫がある限り修理対応いたします。

修理のご依頼にできる限りお応えするよう部材の確保に努力いたしますが、部品供給期間中であっても市場状況の変化（各部品メーカーの生産終了等）をはじめとする外部要因により、供給ができなくなる場合がございますのでご了承下さい。

（一部製品に関しましては、既に部品供給が出来ない機種もございます。）

何卒、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

システム設備修理対応状況

1. IMS-BB設備 (2003年～2008製造)

※生産終了より10年間以上経過し、部品が欠品しており修理対応できない場合があります。

(1)集合玄関機


機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他
GE-BB-(H) (IMS-BB M1)	2006/3/1	不可	
GE-BB-(G) (IMS-BB G1)	2008/3/1	不可	
GE-BB2-(H) (IMS-BB M2)	2006/3/1	不可	
GE-BB2-(G) (IMS-BB G2)	2008/3/1	不可	
GE-BB3-(H) (IMS-BB M3)	2008/3/1	不可	

(2)IMS制御盤

機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
SE-IMS-BB(A)	2004/3/1	不可	
SE-IMS-BB(B)	2004/3/1	不可	
SE-IMS-BB(C)	2008/3/1	不可	
SE-IMS-BB(D)	メーカー現行品	可	DM-700

(3)IMSキャビネット

3-1	機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
	IMS-BB1	2004/3/1	代替対応部材あり	
	電源装置	2004/3/1	不可	
	各種制御盤	2004/3/1	不可	
	ルーター・ONU	メーカー現行品	代替対応部材あり	
	スイッチングHUB	メーカー現行品	代替対応部材あり	
	キャビネット板 (システムサーバー他)	2004/3/1	不可	
	無停電電源装置 (UPS)	メーカー現行品	可	
	カメラスイッチャー	メーカー現行品	代替対応部材あり	
	データサーバー	メーカー現行品	代替対応部材あり	

3-2	機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
	IMS-BB2	2008/3/1	代替対応部材あり	
	Kユニット	2008/3/1	不可	
	端子台	2008/3/1	不可	
	キャビネット板B	2008/3/1	不可	
	キャビネット板A	2008/3/1	不可	
	アンプ	メーカー現行品	可	
	カメラスイッチャー	メーカー現行品	可	
	スイッチングHUB	メーカー現行品	代替対応部材あり	
	無停電電源装置 (UPS)	2008/3/1	可	

(4) 預かりロッカー

機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他
三国・アルプススチール製 RO-MA-NLA	2006/3/1	不可	代替対応となる場合あり
三国・アルプススチール製 RO-MA-NLA(G)	2006/3/1	不可	代替対応となる場合あり
三国・アルプススチール製 RO-MA-MLA	2006/3/1	不可	代替対応となる場合あり
三国・アルプススチール製 RO-MA-MLA(G)	2006/3/1	不可	代替対応となる場合あり
CBS・アルプススチール製 RO-CA-N	2008/3/1	不可	代替対応となる場合あり
CBS・アルプススチール製 RO-CA-N(G)	2008/3/1	不可	代替対応となる場合あり
CBS・アルプススチール製 RO-CA-M	2008/3/1	不可	代替対応となる場合あり

(5)インテグラボード

機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
IB-BB (IMS-IB-BB)	2008/3/1	不可 (※一部可)	本体一部修理できない部材あり

(6)IPカメラ

機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
屋内用:DTC-301	2008/3/1	不可	代替対応となる場合あり
屋外用:DTC-311	2008/3/1	不可	代替対応となる場合あり

(7)UPS(無停電電源装置)

機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
SMART-UPS500	メーカー現行品	可	本体 ※30, ※31

※30:メーカー耐用年数 1年～2年(実際は環境によりますが、4年から5年動作)

※31:メーカー保守サービス期間 ……5年

(但し、商品が5年超えた場合は、新品に交換することを推奨します。)

※※UPSが充電できなくなると、停電が起きた際、現地でUPSの電源を投入しないと、システムすべてが停電状態になります。

2. その他設備 (1989年～2008製造)

(1)センサースイッチ

機種・型式	生産終了年	修理対応状況	保守用供給部品・その他備考
LC-770 (J), (C) CBS製	2006/9/1	不可	
WZ6754/WZ67541 松下電工製	メーカー現行品	不可	メーカー保証:1年

3. 有寿命部品推奨更新年数について

下記、インターホン工業会のホームページに、『有寿命部品推奨更新年数の目安』の記載があり、弊社としましては、インターホン工業会の定めに従い、各システムに使用している機器について同様に推奨更新年数とさせていただきます。

JIIA
■ 有寿命部品定期交換のお願い

▶ トップページへ

▶ インフォメーション

有寿命部品
定期交換のお願い

▶ インターホンを日々快適にお使いいただくために

インターホンは、住宅用として来客の報知、及び防犯上無くてはならない機器として、ご使用いただいております。

最近では映像で来訪者を確認出来、又留守中の録画が出来るような、より防犯機能を高めたものが普及して参りました。

また、病院用のものにあつては、患者さんと看護師さんとの必須連絡手段として、不可欠であります。従つて、すぐ連絡ができるよう、PHS端末で呼出を確認できるなど、通信機器として機能向上に努めているところであります。

インターホン機能が必須であればあるほど、ひとたび故障が発生すると、早急な修理・復旧が必要となります。しかしながら、インターホン機器は、毎日いつでも使用できるよう、内部は常時稼働しており、また、インターホンのシステム内には、無停電電源や、スイッチング電源ユニット等、時間の経過とともに劣化・磨耗し、部品メーカーが寿命・交換年数を3~6年、又は何万時間と、いように定めているものがあります。

これらの「有寿命部品」は、その時間経過した後には、機能停止に至ることが明らかですので、故障による影響を回避するためには、その年数が経過した「有寿命部分」の交換が必要です。現状は、これらの更新を行うことは少なく、故障修理時にご説明したり、そのまま故障修理対応を重ねることになってしまっている場合があります。

インターホン工業会では、機器の更新が必要な時期まで、快適にお使い続けていただけるよう、この「有寿命部品」の交換推奨年を部品メーカーの公表寿命を参照して別表のように定めました。これらを使用している機器は、故障停止の影響が多大なシステムが多く、不意な故障は極力避けたいものです。

「有寿命部品」の交換は、この予測できる故障を回避し、インターホンを継続的に、快適にご使用いただくために必要であることを是非ともご理解いただき、保守計画に含めていただきますようお願い申し上げます。

1. 有寿命部品推奨更新年数の目安

区分	対象部品・ユニット	更新年数の目安
1	スイッチング電源	4年
2	UPS(無停電電源装置)本体	6年
3	UPS(無停電電源装置)電池	3年
4	CRTディスプレイ	4年
5	LCDディスプレイ	5年
6	パソコン本体	5年
7	ハードディスク	3年
8	フロッピーディスクドライブ	5年
9	冷却ファン(UPS用を含む)	3年
10	プリンタ	5年

※上表のご説明

- ・上表は、各部品・ユニットのグレード、使用条件、システム構成状況、等によって変動するため、凡その交換時期を示すもので、この期間の動作を保証するものではありません。インターホンメーカーが特に指定している場合は、それが優先します。
- ・上表のCRT、LCD等(パソコン等)の連続使用するものを指し、テレビアホンに内蔵しているものは対象ではありません。
- ・有寿命部品以外の部品・ユニットも経年劣化は発生し、故障する場合があります。
- ・CRTディスプレイ、LCDディスプレイの寿命とは、明るさが1/2以下になったことをいいます。
- ・冷却ファンの寿命とは、回転数が30%以上低下したことをいいます。